

くずまき 議会だより

7月定例会議
No. 200

2022（令和4）年
8月3日発行
岩手県葛巻町議会



3年度病院・水道事業決算を認定

3p

自主防災組織等の活動状況は 4議員が一般質問

6p

町内工事場所を確認 ～所管事務調査～

10p

広域道路整備を要望 ～岩手地区議会議員大会～

11p

笑顔のつどい ④7



表紙

葛巻コールアローと
合唱練習する高校生ら
(関連12P)

3年度企業会計決算

葛巻病院の患者等の状況

区分	R3年度	R2年度	比較
入院患者数	11,637人	11,693人	△56人
外来患者数	28,275人	27,885人	390人
外来診療日数	242日	242日	-日

事業の収益が増加
事業会計の3年度の決算は事業収益10億4575万円に対し、事業費用が10億7906万円です。純損失を計上し、累積欠損金(赤字)が6億6002万円に増加しました。年間延べ入院患者数は1万1637人で、前年度より56人減少したものの、外来患者数は、2万8275人で、前年度より390人増加しました。

監査委員の意見(要旨)
病院会計
3年度決算は赤字となり、累積欠損金が増えました。国庫負担金補助金の減額等が要因です。医業収益では、3年度増床した地域包括ケア病床の稼働に期待します。
水道会計
3年度決算は赤字となり、累積欠損金が増えました。資産の減価償却費の増額等が要因です。今後、事業の効率性を高め、計画的な更新工事と経営改善に努められたい。

監査委員は、収支の適正化に努めています。また、費用面では、院内で経営向上計画を作成し、コスト削減などに取組む。

企業会計決算の状況 (税抜き)

区分	病院会計			水道会計		
	3年度	2年度	前年対比	3年度	2年度	前年対比
事業収益(a)	10億4575万円	10億1635万円	2.9%	1億5727万円	1億6661万円	△5.6%
事業費用(b)	10億7906万円	10億6197万円	1.6%	1億8732万円	1億8484万円	1.3%
純損益(a)-(b)	△3331万円	△4561万円	26.9%	3004万円	1822万円	△64.9%
年度末累積欠損金	6億6002万円	6億2670万円	5.3%	1億6613万円	1億3608万円	22.1%

※万円未満切捨

5月会議 5月25日開催

提出された議案は、一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例など4件で、全議員の賛成で原案のとおり決定しました。

- 条例改正4件
- ◇町税条例の改正
 - ◇一般職の職員の給与に関する条例改正…期末手当支給率引下げ改正
 - ◇会計年度任用職員の給与等に関する条例…期末手当支給率引下げ改正
 - ◇新庁舎建設工事の請負契約の変更…南側エントランス及び進入路を整備

病院

事業会計の3年度の決算は事業収益10億4575万円に対し、事業費用が10億7906万円です。純損失を計上し、累積欠損金(赤字)が6億6002万円に増加しました。

水道

事業会計の事業収益は1億5727万円に対し、事業費用が1億8732万円です。純損失を計上し、赤字決算となりました。

質疑

問 国からのへき地医療確保経費が大幅に削減された理由は。

答 国の基準の見直しにより減額となったが、不採算地区病院経営費や医師確保対策費は、国の見直しにより増額となった。

問 当該年度の純利益を計上するための工夫は。

答 地域包括ケア病床を高稼働させ、安定的な収入の確保に努める。

補正予算

一般会計で8億8840万円追加し、総額を84億4867万円としました。

契約

●新庁舎建設工事(第1期・建設工事等)の変更請負契約
契約金を1億461万円増加し、32億1010万円に変更。

道路管理

●町道路線の認定
県が町へ払い下げた土地から国道へのアクセス道路を確保するため野場川原線を町道に認定。

条例改正

●老人福祉センター条例を廃止
新庁舎及び高齢者福祉施設が整備され、老人福祉センターの供用をやめることから、条例を廃止。

●新庁舎建設工事(第1期・電気設備工事)の変更請負契約
契約金を1215万円増加し、5億8045万円に変更。

請願

●令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願
採択し内閣総理大臣ほか衆参両院議長、関係省庁の大臣へ意見書を送付しました。

【補正予算の使いみち】

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第1号)	8億8840万円	84億4867万円
主な使いみち		
■コロナワクチン接種(4回目)の費用		1314万円
■子育て世帯生活支援特別給付金 住民税均等割非課税世帯の子ども1人5万円		536万円
■非課税世帯臨時特別給付金(1世帯10万円) 今年度新たに非課税になった世帯が対象		1558万円
■新庁舎建設工事費		5億7052万円
■七滝山村広場階段等改修工事		480万円
■葛巻高校生徒送迎用車両購入費		437万円
■サテライトオフィスフェンス等設置工事		225万円
■定住対策住宅取得支援事業の増加に対応(補助金)		600万円

●ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択を求める請願書

採択し内閣総理大臣ほか衆参両院議長、関係省庁の大臣へ意見書を送付しました。

7月定例会議は、7月1日から6日までの6日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、4年度補正予算など7件で、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。
一般質問では4人の議員が登壇し、町の対応や考えをたどりました。

Next page

一般質問

今ここが聞きたい

7月4日、4議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

6ページ 鈴木 満 議員

1. 災害に強い町づくりを担う「自主防災組織等」の活動状況について
2. 高齢化に対応した「町婦人消防協力隊」の在り方について
3. 学校教育における「防災教育」の在り方について

7ページ 近藤 聖 議員

1. 役場新庁舎周辺の環境整備について

8ページ 山崎 邦廣 議員

1. 小規模農家の振興について

9ページ 柴田 勇雄 議員

1. 新庁舎への移転日程とこれに伴う業務対応等について
2. 町で管理する道路・橋梁等の長寿命化への取組みについて
3. 町内中学校の休日における運動部活動の「地域移行」に当たっての取組み等について

議員の判断〈議決結果〉



議案等番号	件名と主な内容	議決結果	賛否
令和4年度：補正予算			
議案第27号	一般会計（第1号）…8億8840万円増額し、84億4867万円に	可決	全員賛成
条例改正			
議案第28号	老人福祉センター条例を廃止する条例…新庁舎及び高齢者福祉施設の整備に伴い、老人福祉センターの併用をやめることから条例を廃止するもの	可決	全員賛成
契約変更			
議案第29号	新庁舎建設工事（1期・建設工事等）の契約変更…変更後の金額：32億1010万円 相手方：株式会社銭高組東北支店	可決	全員賛成
議案第30号	新庁舎建設工事（1期・電気設備工事）の契約変更…変更後の金額：5億8045万円 相手方：岩館電気株式会社	可決	全員賛成
令和3年度：企業会計決算			
認定第1号	国民健康保険病院事業会計決算の認定	可決	全員賛成
認定第2号	水道事業会計決算の認定	可決	全員賛成
その他			
議案第31号	町道路線の認定…野場川原線を認定	可決	全員賛成
請願			
請願第3号	令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願	可決	全員賛成
請願第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択を求める請願書	可決	全員賛成
発委			
発委第1号	令和4年度のコメ政策に関する意見書の提出	採択	全員賛成
発委第2号	教職員の定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出	採択	全員賛成

※議長は採決に加わりません

くずまきテレビ録画放送の予定

月日	時間	内容
8月5日（金）	9時～	提案説明、一般質問
	17時～	議案審査
8月6日（土）	9時～	提案説明、一般質問
	17時～	議案審査
8月7日（日）	9時～	提案説明、一般質問
	17時～	議案審査

七滝山村広場周辺の修繕工事の内容は
姉帯委員 観光客が訪れることの多い、七滝山村広場周辺の修繕工事の内容と安全対策は。

健康福祉課長 4回目以降のワクチン接種に係る費用も、全額が国の負担となる。

山崎委員 7月に4回目の新型コロナウイルスワクチン接種が始まるが、費用に係る歳入の見込みは。
健康福祉課長 4回目以降のワクチン接種に係る費用も、全額が国の負担となる。

ワクチン接種に係る歳入の見込みは

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、7月5日に付託された議案の審査を行いました。主な質疑の内容をお知らせします。

地域運動部活動の推進について
近藤委員 運動部活動の地域移行についてスポーツ協会への委託運営は適切か。
まなび交流課長 昨年度は、岩手県の指定を受けて実践研究を実施した。関係者で検討を重ね、運営している。今後も課題を整理しながら指導者等と連携し、事業を運営する。

農林環境エネルギー課長 施設の安全性を考慮し、損壊した木製の階段や路肩を補修し、転落防止柵や手すりの更新工事を実施する予定である。また、併せて定期的に点検を実施していきたい。

サテライトオフィスの稼働状況は
遠藤委員 サテライトオフィスが完成したが、稼働状況、問い合わせなどあったか。
総務課長 サテライトオフィスの建物は完成した。

辰柳委員 高校生を送迎するための車両購入に係る内容は。
こども教育課長 町外から通学する生徒数の増加により、10人乗の車両が必要となった。現在、町外へ運行している車両は、二輪駆動であるため、冬季の運行に備え、生徒の安心安全のため、四輪駆動車へ更新するもの。

高校生送迎車両購入について



損壊した七滝山村広場の階段

非課税世帯給付金支給の時期は
柴田委員 非課税世帯等臨時特別給付金支給までのスケジュール、周知方法は。
健康福祉課長 議決後直ちに対象世帯へ通知し、

子育て世帯支援給付金支給の時期は
柴田委員 子育て世帯生活支援特別給付金支給までのスケジュールは。
住民会計課長 プッシュ型申請方法で、対象者へ通知し、給付されるもの。早ければ7月末から給付を開始する。

これからフェンスの設置や周辺の工事を行った。施設は、シェアオフィスとオープンスペースとして運用する。これまで、民間企業の短期的利用実績がある。

プッシュ型で（能動的に）給付金を支給する。8月上旬以降順次給付を行う。今後、通知のほかに、くずまきテレビやライブビジョンで周知する。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 役場周辺の植栽計画は

答 新庁舎の北側と南側に集約

議員 田の沢川(流雪溝)は現状のままか。
政策秘書課長 構想としては、通行部分を現在より広く取りながら、役場

町長 中心市街地のにぎわいを創出する拠点として、各種イベントが開催できる十分なスペースと駐車台数を確保するとともに、一体的な敷地の有効活用を念頭に置き、段差や車止め、街灯など、敷地を分断する構造物を配置しない設計としている。敷地東側は、1期工事(8月竣工)の期間内に終える予定である。敷地西側は、消防署分署棟・車庫棟・大屋根広場工事と合わせて整備する計画である。

外構工事について

議員 立派な新庁舎にふさわしい環境と景観が望まれるが、外構工事の具体的な予定と内容は。

町長 中心市街地のにぎわいを創出する拠点として、各種イベントが開催できる十分なスペースと駐車台数を確保するとともに、一体的な敷地の有効活用を念頭に置き、段差や車止め、街灯など、敷地を分断する構造物を配置しない設計としている。敷地東側は、1期工事(8月竣工)の期間内に終える予定である。敷地西側は、消防署分署棟・車庫棟・大屋根広場工事と合わせて整備する計画である。

新庁舎周辺環境の整備について

が必要なので、バス会社との調整を続けていきたい。

議員 バス停は病院前に移動するのか。また、「JRバス「しらかば号」が病院前に停車する見込みは。
政策秘書課長 従来のバス停に戻すようバス会社とは協議している。「しらかば号」停車は、利用状況等を見るなどの検討

議員 葛巻病院横や葛巻小体育館横の駐車場はどう活用するか。
政策秘書課長 来院者や中央公園などを利用する一般車両が引き続き利用出来るように考えている。

議員 敷地の降雪の処理や住民の除排雪に支障が無いよう、川の開口部を確保する。今後、町道下町田子線の道路改良工事に合わせて工事を行うように計画している。



手入れされた現公民館裏の植木と庭

議員 新庁舎敷地周辺の設置物の配置や、現存植木等を含む植栽計画は。
町長 駐車スペースを多用途に利用し、冬季除排雪の効率化を配慮して、北側と南側の道路沿いに集約する。「オオムラサキツツジ」を新しく植樹する計画である。既存の樹木などの植栽計画は、今後、庁舎周辺の町道改良工事の計画との調整も図りながら進めたい。

議員 葛巻町の山地にある樹木等を植栽し、名札を付けることで林業振興の一助になるのではないかと。町民や子供の教育・啓発に大変有効と思うが。
政策秘書課長 スペース上、植栽場所が限られるので、高木の植栽は考えていない。現存の庭木などはできるだけ活用したい。
議員 新庁舎周辺に、風車を設置したら、町のPRに役立つのではないかと。
政策秘書課長 役場周辺では、制約などもあり、現在は考えていない。他の設置物も同様である。



すずき みつる 鈴木 満 議員

問 自主防災組織への町の支援は

答 地域の実情に合わせて支援

議員 町にある28地区の自主防災隊の活動状況はどうか。「防災計画」を立案し実施しているところはあるか。又、資機材の保有状況はどうか。
町長 自主防災隊の役割は、災害発生時の、避難所の運営、要支援者に対する避難支援のほか、平時での避難訓練や研修会等を開催し、住民の防災意識と防災力の向上に努めている。また、平成29年度から防災対策専門員を配置し、活動マニュアルの作成や研修会等への講師派遣など、主体的な活動を支援してきた。引き続き地域の防災力の向上に必要な支援を講じて参りたい。

自主防災組織の状況は

実情に応じて、非常時に備えて組織体制を整備していただいている。今後希望する自主防災隊に対しては策定に向けた支援を行いたい。

議員 「資機材保有状況」については、各地区センターに太陽光発電設備や小型発電機の整備を、平成24年度は簡易救助器具などの活動用資機材を整備し、他にも寝袋やアルミロールマットなども配備している。併せて備蓄食料品や飲料水などは分散管理しており、地域の実情に応じた資機材等を整備している。

議員 近年、高齢化が急激に進行している中、町婦人消防協力隊の時代に対処した組織づくりに町は指導力を発揮すべき。町としての考えを伺う。
町長 町婦人消防協力隊

婦人消防協力隊の在り方

は現在本部及び18の分隊で組織され、総勢222名の隊員により構成されている。隊発足から40年以上経過し、隊を取り巻く環境が大きく変化してきていることから、状況を踏まえた組織の在り方を検討する時期を迎えていると認識している。

学校における防災教育

町長 小中学校においては、学校安全計画や学校管理マニュアルを作成し、避難訓練、消火訓練、煙体験など、地域の実情に応じた体験的、実践的な防災教育に取り組んでいる。また、幼少期における防火、防災思想の普及・啓発を目的に少年消防クラブが、保育園には幼年消防クラブが自主防災組織として結成されており、防災教育の実践の場として取組まれてきた。

議員 町の国土強靱化計画では「いわての復興教育」復興プログラムに基づいて防災教育を行っていることとされているが、本町ではどのように進められているのかを伺う。

今後、関係機関等の協力を得ながら、体験的、実践的な防災教育の推進に取り組む。



避難所設営訓練を実施する冬部自主防災隊(令和3年)



やまざき ひろし
山崎 邦廣 議員

問 小規模農家の振興策を伺う

答 ニーズを把握し積極的支援を推進

販売農家支援

議員 小規模な営農の振興について考えを伺う。

町長 令和2年度の農林業センサスにおける当町の農家戸数は、312経営体で3ヘクタール未満の農地での経営体が全体の約54パーセントを占めている。前回の調査から5年間で、経営体が小規模農家を中心に約3割減少しており、農作物生産の減少のみならず、耕作放棄地の増加や鳥獣被害も危惧される状況となっている。国では「農業の規模拡大」「農地の集積・集約化」を推進している。

一方、規模拡大の難しい中山間地は、小規模農家を中心となり、農地を維持していくことが地域の活性化や集落機能の維持に重要と認識している。

当町では、冷涼な気候を活かし明治25年の乳牛

自給農家支援

議員 規模拡大への取組み支援について考えを伺う。

町長 販売農家への支援と同様に、国・県と連携した取組みで規模拡大を進めていくとともに、関係機関と連携・協力しながら支援していく。

議員 需要創出の取組みについてはどのように考えているか伺う。

町長 町の観光・物産・農業など総合的な振興の観点から、一昨年、新たな特産品として「くずま

き鍋」を開発し、その食材は町産を活用することとしており、「くずまき鍋」を提供する町内の飲食店や第三セクターなどの協力を得ながら、新たな需要創出に繋げていきたい。こうした取組みは、食料生産基盤の維持や産業振興のみならず、生きがいの創出、健康の維持増進など高齢者向けの施策としても重要であり、

今後も、自給農家のニーズ把握と的確な支援について調整を図っていく。

※自給的農家：経営耕地面積が30アール未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家



多品目の野菜を栽培する農地

進捗率と完成工期

議員 現段階における新庁舎建設に係る進捗率と完成工期は。

町長 6月末時点における進捗率は約9割で概ね順調に推移してきた。

庁舎棟本体については予定どおり8月中旬には竣工するが、納期の影響を受ける工程については、1カ月程度の工期延長を見込んでいる。

町民等への公開

議員 新庁舎の町民等への公開・内覧会の実施は。

町長 町民の皆さんへの公開については、作業の進捗状況などを踏まえ、改めて周知させていただきたいと考えている。

移転日程と業務対応

議員 新庁舎への移転日程とこれに伴う各種業務対応について伺う。

町長 現時点では、11月中には新庁舎で業務が開始できるような作業を進めているが、世界的な経済情勢の変化で、設備取付工事や備品などの納品に影響が出る可能性があることから、今後の発注状況等を踏まえながら、最終的な移転日程等の調整を進めていきたいと考えている。

また、業務対応については、町民の皆さんに対する行政サービスの提供に影響が出ないよう、業務システムの切替えや、引越し作業など、影響を最小限に止められるよう調整を図っていく。

道路・橋梁等の長寿命化

議員 町で管理する町道等の今後の長寿命化計画について伺う。

町長 現在、橋梁・トンネル等の道路構造物については、5年ごとの点検

が義務付けられており、その点検結果を基に長寿命化計画を定期的に見直し、計画に基づいた長寿命化工事を進めている。

部活動の地域移行

議員 町内中学校の休日における運動部活動の「地域移行」に当たっての今後の取組みについて伺う。

町長 運動部活動の改革については、公立学校における働き方改革や教職員の負担軽減などの視点から、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に

地域に移行することで教師の負担軽減を図ろうとするものである。一方で、休日の部活動の地域移行に当たっては、様々な問題も指摘されている。

この提言を受けて国では、近々方針を示す予定ではあるが、当町においては昨年の実践研究、これまでの生徒の減少や希望する種目の導入など、議論された背景もあることなどから、地域の実情に応じた改善策について、改めて検討していきたいと考えている。



長寿命化工事後の町道坂待屋鷹ノ巣線



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

問 新庁舎の移転日程は

答 11月中に業務開始予定

地域の課題早期解決へ

決議文を朗読する高宮一明議長



～岩手地区議会議員大会～

第69回岩手地区議会議員大会

岩手地区議会議員大会 要望提案内容 (要約)

1. 広域的な観点からの道路整備促進
2. 地域振興の観点からの道路整備促進
3. 県立高等学校の存続と魅力ある学校づくり
4. 農業振興対策の推進
5. 林業振興対策の推進
6. テレビ共同受信施設の施設改修費に対する財政支援制度の創設
7. 新型コロナウイルス感染症対策

この大会は、葛巻町、岩手町、雫石町の3町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けてお互

岩手地区議会議員大会主催による、第69回岩手地区議会議員大会が7月19日、ふるさと体験学習館「モウモウ館」で開催されました。構成する3町の議会議員、来賓として県議会議員と町長など約60人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認しました。

道路整備促進など 要望7項目を承認

この大会は、葛巻町、岩手町、雫石町の3町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けてお互いに協力して検討するた



提案の説明をする遠藤裕樹議員

満場一致で承認された要望7項目は、8月に地区議会議員大会が地区選出県議会議員や県の関係機関に対して要望活動を行います。10月には岩手県選出国会議員や国の関係機関に要望を行う予定です。要望の主な内容は上の表のとおりです。

議会活動報告	【盛岡地区広域消防組合 議会7月臨時会】	【盛岡北部行政事務組合 議会第1回臨時会】
議案	6件	3件
議決結果	全議案可決	全議案可決
場	盛岡地区広域消防組合	八幡平市市役所
期	7月20日	7月26日
出席者	辰柳敬一議員	近藤 聖議員
出席者	山崎邦廣議員	姉帯春治議員



岩手地区議会議員大会終了後、毎日新聞論説委員の人羅格氏による講演会が開催されました。講演は、「変える議会 変わる議会」と題し、議員研修誌で連載している全国各地の議会改革への取り組み事例や、取材での豊富な経験に基づく内容でした。今後の、地方議会が取り組むべき課題について大変参考になる内容でした。

輝くふるさと常任委員会 県外視察レポート

輝くふるさと常任委員会(鈴木満委員長)は、6月2日から3日、宮城県松島町で移住定住・人口減少対策及び震災復興、岩手県住田町で林業振興を視察、さまざまな取り組みを研修し、町の課題解決策を探りました。

移住定住人口 減少対策

宮城県松島町は、仙台市から北西方向沿岸部へ約20キロメートルに位置する町で、人口約1万3000人、基幹産業の観光業をはじめ農業や水産業の盛んな町です。

子育て世代を中心とした若者の定住促進の取組みでは、仙台市など都市部への良好なアクセスと風光明媚な歴史・文化や海と里山の心豊かなスローライフな松島暮らしの推進に取組んでいます。また、町内で創業を募る創業者支援事業では、6年間で21件の新規創業者が誕生し、内6世帯12名の定住にも結び付いています。



瑞巖寺で災害復興を説明する松島町観光協会会長(左から2人目)

震災復興

人的被害をはじめ約170ヘクタールに及ぶ津波浸水により被害をおよぼした東日本大震災からの復興は、松島町震災復興計画によって取組まれました。計画による復旧・復興は、創造的な復興を目指す松島町・長期総合計画へ継承し、都市基盤の復興、生活及び観光・産業の復興が図られ復興関連事業は、令和3年度におおむね完了となっています。

また、川上から川下までの木材流通の取組みとして、木材加工工場を設置し、工務店を設立、第3セクターにより運営しています。その他、地域新エネルギービジョンにより木質バイオマスエネルギー利用の促進などに取組んでいます。



歓迎のあいさつをする住田町の神田町長

林業振興

岩手県東南部に位置する住田町は、人口約4900人、第一次産業の農業・林業を基幹産業とする町です。特に、林業では豊富な森林資源を生かした木材加工を特色としています。

町有林の管理では、植付から主伐、地拵えまで年数に応じた整備を一貫して推進しています。また、川上から川下までの木材流通の取組みとして、木材加工工場を設置し、工務店を設立、第3セクターにより運営しています。その他、地域新エネルギービジョンにより木質バイオマスエネルギー利用の促進などに取組んでいます。

輝くふるさと常任委員会 所管事務調査

(6月7日から8日) 14カ所を調査

コロナウイルス感染拡大の影響で控えていた事務調査を久しぶりに本格的に実施しました。今回は、テレワーク施設(サテライトオフィスくずまき)や役場新庁舎工事など14カ所を視察しました。

まず、畜産クラスター事業である(株)GRFホルスタインズの牧場で、自動化された搾乳・給餌機械や糞尿処理施設を見学し、最先端の酪農を目の当たりにしました。

道路・河川工事は、西里河川災害復旧工事、坂待屋鷹巣線道路長寿命化工事がすでに完成し、町道葛巻浦子内線道路改良工事は、大橋に接続させるため、工事が急ピッチで進められています。高砂荘浴室棟整備工事は、ほぼ完了し、まもなく利用開始になります。旧田野小学校校庭に建てられた森林雇用促進住宅は、完成して既に入居者が仕事に携わっています。



テレワーク施設内のシェアオフィススペース

工事促進を要望

県土木センター関係では、馬淵川寺田・中村災害復旧工事が終わり、令和2年の豪雨災害箇所の工事がすべて完了しました。打田子地区治水施設工事は、まだ途中で中断しており、意見交換会で工事促進の要望をしました。

テレワーク施設整備事業は、工事が終了し、ホールには、酪農の歴史を刻んだ写真が展示されています。ICT企業等の誘致が期待されます。町民の皆さんの利用も可能です。新庁舎建設工事は、町長に案内をいただき、初めて建物内部を見学しました。5階からは、町内の街並みが眺められ、8月の竣工・11月の業務開始が待たれるところです。

くずまきの笑顔

葛巻コーラロー 合唱練習



葛巻コーラローは、結成41年目を迎え、40周年の記念コンサートに向けた合唱練習を行いました。

今年は、合唱好きな町民の参加を募り、混声合唱に取り組んでいます。

葛巻高校生も参加し、素敵なハーモニーを奏でていました。



7月6日の合唱練習の様子

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各種団体の総会、式典などの会費が主なものです。

4月	12,500円	(地区議長会総会)
5月	39,000円	(源流公園安全祈願祭ほか)
6月	13,000円	(地区議長会議長・局長会議ほか)

「くずまき議会だより」に対するご意見・感想をお待ちしております

次の定例会議は**9月2日(金)**です。

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすくように配慮して制作しております。一部当たり約72円で作成されています。
印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

「議会だより」は、発刊200回を迎えました。
第1号は、昭和40年5月に発刊。当初は年2回の発刊で、予算審議や決算審議、一般質問の状況など1年間の議員活動の状況や、町政施策をよく知っていただくため、全戸配布されてきました。
今後とも、皆様が分かりやすい編集に努めて参ります。「議会だより」にご意見ご感想などお寄せください。

広報常任委員会

委員長 山崎 邦廣

編集後記

森林認証した紙を使用しております。

